

おぐに

2026
3
No. 857

● 広報



わがしゅ 白い森でかがやく“若い衆”⑩

ミニスーパーマーケットまちの駅に勤務する明石万実さん（小国町）は、レジ業務や商品の発注業務を行っています。また、SNSを活用した販促活動などにも積極的に取り組んでいます。新潟県出身で、小国に住み始めてから6年目を迎える明石さん。「もともと人と関わる仕事が好きで、レジなどで小国のかたとふれあう時間がとても楽しいです。若い人からお年寄りまで多くの世代のかたに来ていただけるようなお店づくりの支えになりたいです。」と仕事に対するやりがいとこれからの思いについて話してくださいました。

「協働」のまちづくりで活力を生む

地域課題をともに解決していくために

本町を含め、全国の多くの自治体において、人口減少と少子高齢化に伴う多様な課題や問題が加速し、行政運営に大きな影響を及ぼしています。

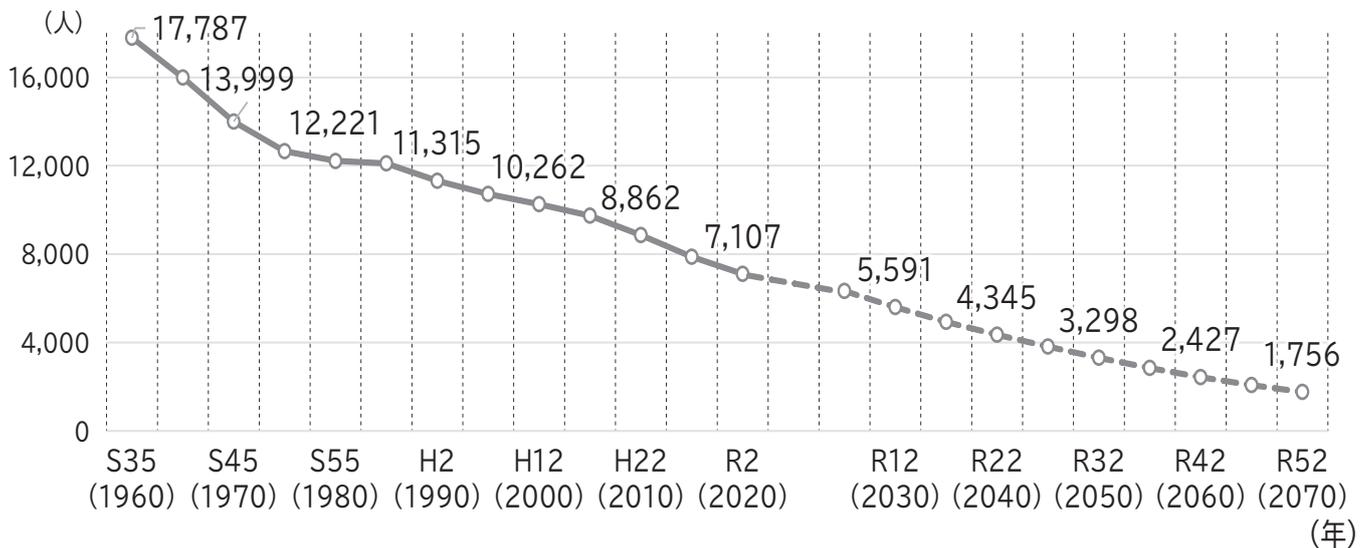
こうした現状を踏まえ、本町では町内に居住しているかただけでなく、町外に居住し、小国と関わりのあるかたとともに進めていく「協働のまちづくり」を重要な指針の一つとして各種の取り組みを行っています。

今回は、「協働のまちづくり」に係る活動と、具体的な協働の形を紹介しながら、今後のまちづくりのあり方について考えます。



■本町の総人口の推移（昭和35年～令和52年）

※令和7年以降は国立社会保障・人口問題研究所（社人研）による推計値



出典：国勢調査・社人研資料（「小国町人口ビジョン」より）

本町の高齢化率は、令和2年国勢調査時において40.6%であり、令和32年には高齢化率が51.3%と、半数以上の町民が65歳以上になると推計されている。

本町の人口と考え方

本年1月31日現在の住民基本台帳に基づく本町の人口は、6242人です。一方、令和2年に実施された国勢調査時の本町の人口が7107人となっており、単純な比較ではありませんが約5年近くでおよそ1000人減少したことになります。また、日本の将来推計人口の作成、公表などを行っている国立社会保障・人口問題研究所が令和5年に推計した将来人口によれば、令和22（2040）年には4345人、令和32（2050）年には3298人になるとされています。

こうした人口の減少は、死亡者が出生者を上回る自然減と町外への転出者が町内への転入者を上回る社会減によって発生しています。本町においては人口の現状

と将来展望を明らかにし、人口減少と少子高齢化に対応するための方向を提示する「小国町人口ビジョン」を平成27（2015）年に策定し、その継続したビジョンに基づいた施策を展開しています。このうち、社会減を抑制する取り組みの一つとして、「町に住む人」を土台にしつつ、本町や町民に対して関心や共感などの想いを寄せ、町民や行政と協働（＝同じ目的のために、対等の立場で協力して働くこと）してまちづくりに関わるかたがたを「協働人口」として広くとらえ、ともにまちづくりを進めてきました。

学生との協働

町では、小国に対する関与度が強く、来訪頻度も多いかたのことを「まちづくりに参画する層」と位置づ

特集 「協働」のまちづくりで活力を生む ～地域課題をともに解決していくために～

け、さらなる本町との結びつきを推進しています。その中でも、大学等の連携は、町外の若年層が本町のイベント等に積極的に参加することで、町内在住者と関わる機会をもつことが可能となります。大学側は地域を間近で見学することができ、今後の学業などに活かすことができるという点、地域側は学生からの客観的な提案や意見などを受け取り、今まで知ることができなかった地域の魅力を再発見できるという点など、それぞれにメリットがある取り組みといえます。その一つとして、新潟大学が実施する、地域課題に取り組むプログラムである「ダブルホーム」は、平成20年から、本町の南部地区において「Fホーム」という名称で地域が学生の受入を進めており、現在も地域と学生が連携し活動を行っています。地域



▲約20年ぶりに開催された「たまがわ春の山菜祭り」

側として、学生の受入に積極的に関わっている渡辺幸弘さん（玉川）は「受入当初は、普段なかなか接する機会の少ない大学生とうまく地域を結び付けられるか不安がありました。しかし、地区においても高齢化や過疎化が進む中で、やってくる学生たちが共同作業や行事に積極的に取り組んでいて、地区全体ににぎわいが戻ってきたと感じています。また、昨年6月に約20年ぶりに開催した地区の山菜祭

りもFホームの学生が積極的に関わってくれて、取り組みが良い方向に進んだものと思っています。今後も、若い学生の柔軟な発想で地区に対して様々な意見や提案をしてもらい、地区の活性化に寄与してもらえればと思います。」とお話いただきました。Fホームに所属する学生として活動する新潟大学3年の森下乙夏さん（愛知県出身）は「私は1年生の頃からFホームに所属し、今年度で3年目となります。活動を重ねるにつれて、南部地区で行われていたしめ縄づくりの文化が途絶えてしまったという話を耳にしました。文化は地域のアイデンティティであると考えており、しめ縄づくりのような文化を残すことができるような活動に地域のかたと一緒に取り組んでいます。これからは、地域のかたが普段はなかなか実



▲町内で活動を行う森下乙夏さん

感することが難しい地域の魅力や課題を見つけ、積極的に共有していきたいと考えています。」と活動の意義とこれからの地域との向き合い方についてお話いただきました。また、町では本年度、総務省の「大学等と地域が連携して取り組む地域課題解決プロジェクト（ふるさとミライカレッジ事業）」のモデル実証事業への採択を受け、地域課題を大学等と地域が連携して解決する体制

の構築にむけた取り組みを行っている。本事業では、年間20回にわたり前述した新潟大学のFホームのほか、早稲田大学と東北芸術工科大学の学生がそれぞれの班に分かれて、町内で町独自の文化などをテーマにフィールドワークや意見交換等が行われました。また、今月15日には活動の集大成となる発表会が行われ、各班で学んだ内容や本町への提案などが発表されました。本事業の実施については一般社団法人メグリバに委託して進めており、その代表で、本町地域おこし協力隊の片岡隆史氏は「今年度のふるさとミライカレッジ事業では、各班の学生が小国でしか経験できない文化や地域資源などに町民のかたとともに触れ、SNSでの発信やビジネスプランの提案といった形で地域に還元しました。メグリバの今後

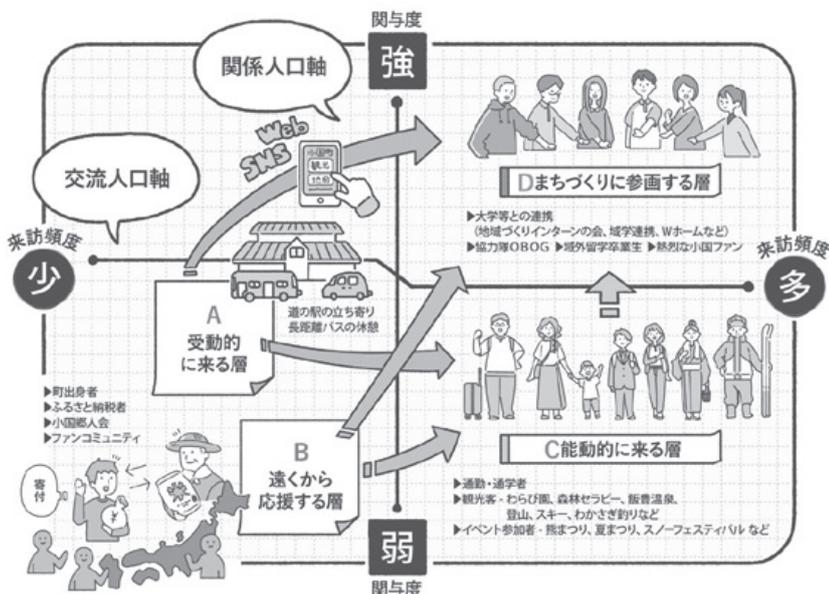
については、今年度連携した3大学とのつながりを継続しながら、大学だけでなく、社会人や企業との連携も模索しており、小国町の新たな協働の形を生み出し、より広く協働人口として、小国のまちづくりを行ってくれるかたを増やしたいと考えています。」と協働による今後の町の可能性について話していただきました。

協働を形にする

町民と町外の協働人口のかたがまちづくりを一緒に取り組む活動は、新しく始まった取り組みも含め、一つのモデルケースとして成果を見せつつあります。一方でこのような取り組みを誰が、どのように拡大していくかという点では課題も残されています。モデルケースでは、受入を行う地域側が、受け入れることのメ

リットを把握していることや、中心となる「キーマン」の存在が必要であるといえます。人口減少・少子高齢化が進む中で、特に地域の若者たちの協働における活躍が重要になります。加えて、よりにぎやかで活発なまちをつくっていくためには、「若い人たちが楽しいと

<本町における「協働人口」のイメージ図>



思えるまちづくりを進めていくことも必要です。こうしたまちづくりを協働で実現するため、町では引き続き、若者がまちづくりに関わるきっかけづくりを進めるワカモノプロジェクトをはじめ、若者が活躍できる環境づくりを推進していきます。



第43回つる細工講習会 伝統の手仕事を作って味わう

小国町観光協会が企画する「つる細工講習会」が1月23日から25日にかけて、飯豊温泉梅花皮荘を会場に開催され、町内のほか千葉県、栃木県などから17人が参加しました。参加者は、初心者向けコースと経験者向けのコースに分かれてお互いの技術を確認しながら、つる細工の製作に取り組みました。毎年参加しているかたは「懐かしい気持ちと新たな発見を今年も感じられました」と感想を話されていました。



スマホ相談会開催

スマホのわからないをいっしょに解決！

1月27日、白い森ショッピングセンターアスモにおいてスマホ相談会が開催されました。

この相談会は、町のデジタルデバインド（情報格差）対策事業として、近年急速に浸透しているスマートフォンの利用に関する悩みや不安について、講師と1対1で相談する形で行われました。当日は19人のかたが相談に訪れ、メッセージアプリの使い方やスマホ決済の方法、カメラの使い方などを講師と話をしながら学んでいる様子がみられました。



▲実際にスマホを操作しながら相談を実施

小国町スポーツ講演会・小国町スポーツ協会表彰式 スポーツを学び、選手をたたえる

小国町スポーツ講演会と小国町スポーツ協会表彰式が1月31日、おぐに開発総合センターで開催されました。

講演会では、本町出身で山形県水泳連盟顧問である佐々木賢二氏の講演が行われ、「指導を行う時は叱るのではなく、まず選手の話聞くことが最も大事なことです」と自身の経験から得られたスポーツ指導のあり方についてお話いただきました。

また、表彰式では町内外で活躍した選手や団体、指導者等49人が表彰を受けました。



▲佐々木賢二氏によるスポーツ講演

第26回全国女性消防操法大会出場報告会 大健闘を称える

昨年10月28日に、神奈川県横浜市で開催された第26回全国女性消防操法大会において見事入賞を果たした小国町女性消防隊の出場報告会が1月31日に白い森ショッピングセンターアスモで開催されました。

会では、女性消防隊の指揮者を務めた齋藤美穂さん（石滝）による大会出場報告が行われ、大会に至るまでの練習の様子や大会の結果、これまでの支援に対する感謝などが述べられ、会場は大きな拍手に包まれていました。



▲齋藤美穂さんによる大会出場報告の様子

高校生除雪ボランティア活動 大雪の中でも元気に大活躍！

2月2日、高校生除雪ボランティア活動が行われ、小国高校や小国町社会福祉協議会などから15人が参加しました。

当日は2つのグループに分かれ、町内の一人暮らしの高齢者宅を訪問し、除雪活動を行いました。

ボランティア活動に参加した小国高校2年の長谷川遙さん（東京都出身）は「雪はこんなにも重いということが除雪を行って分かりました。除雪をすることが難しいかたのために少しでも役に立てて良かったです」と感想を話してくれました。



白い森ウィンタースポーツ大会開催 小国の真冬の熱戦！

白い森ウィンタースポーツ大会が2月15日、横根スキー場を会場に開催されました。

大会は、各地区スポーツ協会による対抗戦形式で進められ、スキーやスノーボードによるジャイアントスラロームのほか、雪上綱引きや雪をどれだけ積み上げられるかを競うスノー・タワー競争といったレクリエーション種目が行われました。

結果は熱戦の末、町岩東地区と東部地区が同点で優勝を果たしました。

■順位 優勝：町岩東地区・東部地区
第3位：南部地区・小坂町地区



挑め、ともに！

小国高校魅力化通信⑤

ハタラトーク！

2月5日、1年生の「ハタラトーク！」が行われました。株式会社プラスアートの新田卓さんの司会のもと、若手社会人の皆様にお集まりいただき「なぜこの仕事に就いたのか？」「どんな仕事をしているのか？」「休日の過ごし方は？」など様々なお話をお聞きすることができました。



〈生徒の声〉

「皆さん率直に接していただいた話しやすかったです。仕事の話だけでなく、職場の雰囲気や社会人の休日の過ごし方を聞く機会はなかなかないので、貴重なお話が聞けました。」

「工業系の高校に進学しても接客の仕事に就くといったように、進路が仕事に直結するとも限らないということ話を話の中で知り、今後の進路選択の参考となりました。」

協力隊通信

series | 4

「お世話になりました」

緑のふるさと協力隊 ささき ゆうま
佐々木 佑真

自分でも怖いほど時間が経つのが早い1年間でした。

それだけ毎日が充実していたということだと思います。地元の大阪では感じられない四季や人間関係の濃さなど、小国での暮らしは自分にとっても合っていました。そして小国で過ごした2年間は、今後の人生に大きな影響を与えたと思っています。

任期終了後は、大学に復学し卒業を目指します。その後の進路は今も思案中です。

出会えたかたがたにとっても感謝しています。本当にありがとうございました。



「白い森の国おぐに」森づくり活動の取り組みについて

小国町は、全国有数の豪雪地帯であり、「ブナの森」をはじめ、町全体を覆い尽くすように落葉広葉樹林が広がっています。この豊穡の森の象徴であるブナの木肌と、冬に降り積もる雪から連想される「白」。小国町では町全体を「白い森」と呼び、そこで培われてきた先人の技術と知恵である「ぶな文化」を基軸に町づくりを進めています。

「やまがた緑環境税」を活用して森林と関わる様々な体験活動を開催し、次代を担う子ども達をはじめ多くのかたを対象に、森林や農林業への理解と促進を目的とした事業を展開しています。

白い森づくり体験事業

【森林体験学習】

町内の小学5年生を対象に、町の森林の概要や機能を学んだほか、植栽から主伐までの手入れの仕方を学びました。

令和7年度は、シタケの菌を伐採木に植え付ける「駒打ち」を体験しました。



造林作業等の映像を見ながら講座



造林カードを用いた造林学習



森づくり体験（玉切り実演）



駒打ち体験

【町民の森整備】

町民を対象として、森林体験活動に適した林地を整備する森林整備体験を行いました。



刈り払い活動実施状況



木製看板等の設置状況

森から拓く次代の生業づくり事業

【林業機械操作技術研修】

町民を対象に、刈払機に関する安全衛生教育研修を行い、その後、受講者で森づくり活動を行いました。機械操作技術の向上と安全な使用方法について学ぶことで、町内の森林整備の促進に繋がるものと期待されます。



林業機械操作技術研修会の様子



森林セラピー推進事業

【環境整備】

森林セラピー基地「ブナの森温身平」の機能と景観を保ち、訪れるかたがたが快適に森林セラピーを楽しめるよう、セラピーロードの環境整備を行いました。



森林セラピーツアー実施状況



木製看板等の設置状況

生涯学習講座開設事業

【白い森子ども体験教室】

幼児や小学生を対象に、森林散策や町内に生息する生物の観察を通じて、森林環境や様々な動植物の特徴と役割について学びました。



町内の2～6歳児を対象とした「森のようちえん」



白い森みらいづくり創生事業

【木育ワークショップ】

日時：令和8年2月21日(土)
会場：道の駅白い森おぐに

■森林環境譲与税について

令和6年度から徴収が開始された森林環境税（国税）を財源とする森林環境譲与税を活用した町の事業については、町ホームページに詳しく掲載しております。併せてご覧ください。



農業委員および農地利用最適化推進委員を募集します

令和8年7月19日をもって、現農業委員、農地利用最適化推進委員の任期が満了することに伴い、次期委員の募集を行います。

■**主な役割** 担い手の農地利用の集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消、新規参入の促進を行います

【農業委員】総会等において農地法に関する許認可の審査・決定を行う

【農地利用最適化推進委員】担当する区域において、農地等の利用の最適化を推進するための活動を行う

■**委員定数** 【農業委員】7人 認定農業者（過半）、女性、青年、農業分野以外の中立委員

【農地利用最適化推進委員】5人 東南部、北東部、東部、南部、北部地域より各1人

■**対象者** 【農業委員】農業に関する識見を有し、農地等の利用の最適化の推進に関する事項、その他農業委員会の業務に関する事項を適切に行うことができるかた

【農地利用最適化推進委員】農地等の利用の最適化の推進の識見を有するかた

■**任期** 令和8年7月20日～令和11年7月19日（3年間）

■**報酬** 小国町特別職の職員の給与に関する条例に基づき支給されます。

■**募集期間** 3月10日(火)～4月14日(火)【期限内必着】

■**応募資格** ①町内に住所を有するかた又は町外に住所を有するかたで、町内の農地に精通しているかた
②町の付属機関等の委員でないかた ③町の職員でないかた

④農業委員会法第8条第4項（破産者・拘禁刑以上の刑に処されているかた）の各号に該当しないかた

■**募集方法** ①町内全域からの推薦 ②農業関係団体等からの推薦 ③一般からの応募

※農業委員と農地利用最適化推進委員の両方に推薦・応募できますが、両方の委員になることはできません。

届出書に必要事項を記載し、直接又は郵送で農業委員会事務局に提出してください。

用紙は農業委員会事務局で用意しています。町ホームページからもダウンロードできます。

■**問合せ先** 小国町農業委員会事務局（農林振興課農地調整担当）☎62-2408）へ

確定申告の納付は振替納税

振替納税は、振替日に自動で預貯金口座から引落としとなり、便利なくみです。

初めて利用する場合には、納期限までに「預貯金口座振替依頼書兼納付書送付依頼書」を書面又はオンラインで提出する必要があります（翌年以降の提出は不要です）。

■**申告期限・納期限**

・所得税及び復興特別所得税：3月16日(月)まで

・消費税及び地方消費税：3月31日(火)まで

■**振替日**

・所得税及び復興特別所得税：4月23日(木)まで

・消費税及び地方消費税：4月30日(木)まで

■**問合せ先** 長井税務署

(☎0238-84-1810 音声案内「2」) へ



←詳しくは国税庁HPをご覧ください。

結核健康診断を受けましょう！

結核は結核菌を吸い込むことで感染し、主に肺に炎症を起こす病気です。感染した人が実際に発病するのは1割から2割程度ですが、発病を見落とすと、周りの人に感染させてしまうリスクが高くなります。そのため、早期に発見し治療することが必要です。自覚症状がなくても年に1度は健康診断（胸部レントゲン検査）を必ず受けましょう。また、咳や痰、体のだるさなどが2週間以上続く場合は、早めに医療機関を受診しましょう。

■**その他** 置賜総合支庁では結核等の感染症に関する職員出前講座も行っています。下記担当までお問い合わせください。

■**問合せ先** 置賜総合支庁（置賜保健所）
保健企画課 感染症対策担当

(☎0238-22-3002) へ

お知らせ

町営住宅入居者募集

小坂町団地

3DK 6戸

(2階、3階、4階)

◎対象 世帯状況に応じた所得制限あり

◎家賃 所得により決定

◎敷金 家賃の3カ月分

◎募集期限 3月10日(火)

◎入居時期 4月上旬以降

◎問合先 地域整備課建設管理担当 (☎62・2431)へ

2026年度労働基準監督官採用試験のご案内

■受験資格

①平成8年4月2日から平成17年4月1日生まれのかた

②平成17年4月2日以降生まれのかたで大学(短大を除く)を卒業及び令和9年3月までに大学を卒業する見込みのかたまたは人事院が同等の資格があると認められた

■採用予定者数

労働基準監督A(法学系)

約145人

労働基準監督B(理工系)

約35人

■受験申込期間

2月19日(木)～3月23日(月)

■受験申込方法

インターネット申込

(国家公務員試験採用情報NAVI)

■試験日

一次試験 5月24日(日)

二次試験 7月7日(火)～10日(金)

■問合先

山形労働局総務部総務課人事係(☎023・624・8221)へ

『やまがた縁結びたい』による結婚相談会

■日時 3月14日(土) 13時～16時45分

■場所 やまがたハッピーサポートセンター置賜支所(米沢市)

■対象 結婚を希望するかたまたはそのご家族(予約制)

■内容 婚活の仕方、お見合い相手の紹介などの個別相談

■その他 県登録ボランティア仲人「やまがた縁結びたい」を募集しています。詳しくは「やまがた縁結びたい」で検索ください。

■申込・問合先 やまがたハッピーサポートセンター(☎023・687・1972)へ

令和9年歌会始のお題及び詠進歌の詠進要領について

宮内庁より、令和9年歌会始のお題及び詠進歌の詠進要領が発表されました。

■令和9年歌会始のお題は「旅」と定められました。

※お題は「旅(たび)」ですが、歌に詠む場合は「旅」の文字が詠み込まれていればよく、「旅路」、「旅籠」、「旅愁」のような熟語にしても、差し支えありません。

■その他 詠進歌の詠進要領等の詳細は宮内庁のホームページをご覧ください。

自動車の検査・登録手続きはお早めに!

例年、年度末は自動車の検査や登録の手續ぎが集中し、窓口が大変混み合います。

自動車の継続検査(※車検)や、移転登録(名義変更)、抹消登録の登録手續ぎはお早めにお済ませください。

登録手續ぎに必要な書類等の案内は、山形運輸支局のホームページのご利用が便利です。

(書式も取り出せます)

※継続検査は期間満了2ヶ月前から受けることができます。

■受付時間

平日8時45分～11時45分、13時～16時

■問合先 山形運輸支局(☎050・5540・2013)へ

「借金返済に関する相談窓口」のご案内

東北財務局山形財務事務所では、借金返済でお困りのかたの相談窓口を開設しています。相談員が借金の状況等をお伺いし、必要に応じて、弁護士等の専門家に引き継ぎます。相談は秘密厳守・無料です。お気軽にご相談ください。

■相談専用電話

☎023・641・5201

■会場 東北財務局山形財務事務所(山形市緑町2-15-3)

■受付時間

平日8時30分～12時、13時～16時30分

■問合先 東北財務局山形財務事務所理財課(☎023・541・5178)へ

警察署窓口業務の受付時間変更及び 県総合交通センター金曜日の窓口業務の一部休業のお知らせ

<警察署窓口業務の受付時間変更>

■変更開始日 3月2日(月)

■受付時間

(変更前) 9時~16時30分 → (変更後) 9時~12時、13時~16時30分

※お昼に手続き希望の場合は事前に警察署へ相談をお願いします。

■対象となる手続き

○交通に関する各種許可・届出申請

免許関係・道路使用許可関係、車庫証明関係・通行許可関係等

○生活安全に関する各種許可・届出申請

銃砲刀剣類、火薬類関係・警備業、探偵業、古物営業、質屋営業関係等

※事件・事故・遺失物等の届出は24時間対応です

<県総合交通センター金曜日の窓口業務の一部休業>

■休業開始日 3月6日(金)

■休業する業務 受付業務、免許更新、記載事項変更(住所・氏名等の変更)

保有状況変更(マイナ免許証の切替え)

※月曜日から木曜日及び日曜日はこれまで通り業務を行っています。

■問合せ先 小国警察署(☎62-0110)へ

横山信一氏が2025年農林業センサス功績者農林水産大臣表彰を受賞

横山信一氏(泉岡)が、2025年農林業センサス功績者農林水産大臣表彰を受賞されました。

横山氏は、長年にわたり農林関係統計や国勢調査を中心とした統計調査に携わり、調査員としての業務を遺漏なく実施するとともに、平成12年から令和7年までの計6回の農林業センサスでは指導員を務められました。今回の受賞は、調査の意義や実施方法等をよく理解し、豊富な知識と経験を活かした調査員に対する指導・支援や、適切な審査業務の遂行といった功績が認められたものです。



広告

令和7年度 山形労働局委託 高齢者活躍人材確保育成事業

人生の選択肢を増やしたいシニアの方へ

会員募集中

- 働きたい・地域貢献したいシニアの皆さんの入会をお待ちしています。
- 会員向け日常生活での安心・便利・楽しみに関するセミナーも開催しています。
- 企業の皆様へ
人手不足の解消にシルバー人材センターの活用を考えてみませんか?

あなたの経験と知識を活かして新たな生きがいを見つけよう!



一般社団法人 小国町シルバー人材センター

〒999-1352 西置賜郡小国町大字岩井沢604-2 小国町老人福祉センター内 TEL.0238(61)0030



公益社団法人 山形県シルバー人材センター連合会

〒990-0041 山形市緑町一丁目9-30 緑町会館3階 TEL.023-626-3566

保健カレンダー

1. 各健診の日程等

■3・4か月児健診

- ・期 日 3月6日(金)
- ・受付時間 13:10～13:20
- ・対 象 R7年10月、11月生まれ

■9・10か月児健診

- ・期 日 3月6日(金)
- ・受付時間 13:00～13:20
- ・対 象 R7年4月、5月生まれ

2. 場 所 健康管理センター

3. その他 母子健康手帳を持参ください。

4. 問合先 健康管理センター（☎61-1000）へ

今月の納税 2026.3

3月の税金等の口座振替は、次のとおりです。振替日の前日まで、指定の口座に入金してください。

●3月31日(火)

国民健康保険税・後期高齢者医療保険料

●3月26日(木)

水道料、下水道料、簡易水道料

●3月31日(火)

介護保険料、住宅使用料、児童福祉使用料

■問合先

税務課税政管理室（☎62-2403）へ

子育て支援センターから

■3月の広場日程

	曜日・日時	時間	申込
あそびの広場	3/14(土)	9:00～11:30・13:00～16:00 場所:健康管理センター	不要
なかよし広場	月～金	9:00～11:30・13:00～16:00 場所:アスモ内または健康管理センター	
行事	おしゃべりカフェ	3/12(木)10:00～11:30・健康管理センター	要

■対象者 就学前のお子さんとお家のかた

■利用時の注意点

体調の悪い場合は、利用できません。

■その他

お気軽にご参加ください。平日はいつでも子育て相談に応じえています。

■問合先 子育て支援センター（☎090-9015-8330）へ

求 人 情 報

町ホームページにおいて、小国町をおもな就業先としている求人情報を毎週火曜日に更新しています。下記の二次元コードよりご覧ください。

既に雇用が確定している場合もありますので、ご了承ください。求人情報の詳細については、ハローワーク長井（☎84-8609）へお問い合わせください。



◀ホームページはこちらから

「おぐにマルチワーク事業協同組合」事業報告会・懇親会を開催します

おぐにマルチワーク事業協同組合は小国町らしい四季折々の仕事や暮らしを組み合わせた働き方・暮らし方を創るため、令和3年に創立されました。主に小国町外からの移住者を雇用し、組合員（事業者）へ派遣することで人材不足解消や事業承継を担っています。今までの歩みと今後の方向性についてお知らせするため、下記のとおり事業報告会と懇親会を開催します。

■日 時 3月6日(金) 事業報告会（無料）：18時～19時30分 懇親会（1人2,000円）：19時40分～

■場 所 おぐに開発総合センター 集会室

■内 容 事務局から1年間の事業報告と今後の方向性について、職員から1年間の活動報告

■その他 事業報告会、懇親会はいずれかの出席も可能です。出席希望のかたはお問い合わせください。

■問合先 おぐにマルチワーク事業協同組合事務局（☎090-2558-2440）へ

入札結果情報（令和8年1月21日～令和8年2月20日実施）

単位(円)

入札日	工事・事業名	施行場所	工期(完了)	予定価格	落札業者	落札価格
R8.2.2	令和7年度 令和7年災 第3651号 上水道排水施設災害復旧工事	小渡地内	R8.3.31	8,430,000	㈱フソウ 東北支店	8,400,000

※入札結果情報の金額は消費税及び地方消費税を含みません。



●小国町役場 代表（総務企画課） ☎ 62-2111 代 fax62-5464

●行政管理室 ☎ 62-2112

●観光交流推進室 ☎ 62-2416

●住民窓口担当/町民生活担当/危機管理担当 ☎ 62-2260

●建設管理室 ☎ 62-2431

●企画財室/次期総合センター建設推進 ☎ 62-2264

●白い森ブランド戦略室 ☎ 87-0821

●国保医療担当 ☎ 62-2261

●建設技術室 ☎ 62-2432

●会計室 ☎ 62-2406

●農林振興室 ☎ 62-2408

●税政管理室 ☎ 62-2403

●議会事務局 ☎ 62-2448



戸籍のまど

(1 月 届 出 分)

誕生おめでとうございます。

北 木 村 愛 菜 (拓 絵 也 美)

おくやみ申し上げます。

大 宮 伊 藤 キ ツ (95)

驚 安 部 重 留 (83)

小国小坂町 渡 部 ヤ ヘ (93)

小 玉 川 藤 田 榮 一 (94)

新 股 渡 部 昌 子 (91)

長 沢 齋 藤 敬 (90)

北 阿 部 乃 子 (82)

幸 町 佐 藤 は る (92)

小国小坂町 藤 田 孝 子 (88)

伊 佐 領 高 橋 ハ ナ 子 (97)

大 石 沢 近 ナ ツ (92)

幸 町 與 板 す み 子 (82)

※この欄に掲載を希望しないかたは、届出の際にお申し出ください。

人口のうごき (令和8年1月31日現在)

人口 男・・・3,142人 (- 3)

女・・・3,090人 (- 7)

計・・・6,232人 (- 10)

世帯数 2,826世帯 (- 6)

編集後記

先月はミラノ・コルティナ五輪が行われ、日本人選手の活躍に日本全体が盛り上がりを見せる日々が続きました。小国においても、取材した白い森ウィンタースポーツ大会は五輪に負けない盛り上がりを見せていました。五輪選手は日本代表として、ウィンタースポーツ大会に出場した選手は地区代表として、背負うものは違いますが、それぞれに熱い思いを感じた1か月でした。(舟山)

3月の

おぐにスポーツイベント 「運動で健康サプリ」



■日 時 3月14日(土) 10:00~11:00

■場 所 小国町民総合体育館

■内 容 「体を整えるストレッチポール」

■参加費 500~750円

■持ち物 タオル・飲み物

■定 員 23人

■申込締切 3月11日(水)

※ストレッチポールは無料でお貸しします。

■申込・問合せ先

(☎ 62-5808) へ

特定非営利活動法人

おぐにYui
スポーツクラブ

東日本大震災復興記念事業

~あの日から15年~ 追悼・復興・再生
東日本大震災を語り継ぎ、
15年前の教訓を次の世代へ

■日 時 3月11日(水) 11時~18時

■場 所 米沢市民文化会館

■内 容

開会セレモニー・黙祷

第1部 講演「被災地支援活動と国際平和」

講師 サイヒロコ

第2部 コンサート

出演 井上あずみ&ゆーゆ

献花・防災用品展示等、竹あかり

■問合せ先 置賜総合支庁総務課防災安全室

(☎ 0238-26-6007) へ



第12回マタギの里小玉川雪まつり

雪の中の大冒険



◎日 時 3月7日(土) (前夜祭) 17:30~19:00
3月8日(日) 10:00~15:00

◎会 場 旧小玉川小中学校グラウンド

◎入場料 前夜祭:無料/当日:100円 (小学生以上)
(スノーモービル体験は3回券500円)

■問合せ先 小玉川青年団イチコロ

(☎ 090-5839-8623 / 080-3158-6686) へ

ドローンがみた、 おぐにの風景

No.64



⑥4 尻無沢地区

尻無沢地区は、かつては地区を流れる沢の量が少なく、水も流れにくい土壌であったことからこの地名が付けられたとされており、地区が水で潤い、十分に稲作ができるよう、五穀豊穡の神として信仰されている突智冠神社が建てられたといわれています。(出典：小国の信仰)

当地区では、朝日連峰、飯豊連峰いずれも見ることができますが、撮影日（2月10日）当日は晴天にも恵まれ、青空のもとで白く染まった朝日連峰の山々が堂々とそびえ立つ様子が見られました。2月の前半は積雪も増加し、冬はまだまだ続くと感じたものの、後半にかけて気温も上がり、少しずつ雪解けも始まっているようです。雪解け水が沢を流れ、地区のかたがたに恵みをもたらす春が訪れるのはあと少しです。